

令和7年度 第1回四街道市指定管理者選定評価委員会
(福祉施設等合議体) 会議概要

開催日時	令和7年7月29日(火) 13:30~16:05
開催場所	四街道市役所 本館1号棟 4階 会議室
出席委員	石村委員(会長)、森委員(副会長)、高司委員、大矢委員
欠席委員	原口委員
事務局	契約課:井上課長、岩淵係長、木川主任主事、深澤主事
説明者	社会福祉課:飯泉課長、木村係長、近藤主事 子育て支援課:久保木課長、富田主事 障がい者支援課:安永課長、杉本課長補佐、宮内係長、金子主事
開催形態	公開
傍聴者	0人

会議概要

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 諮問
- 4 市長あいさつ
- 5 職員紹介
- 6 議事録署名人の選出(森委員、大矢委員を選出)
- 7 議題
令和6年度に実施された指定管理者による施設管理状況の評価
①四街道市国民保養センター鹿島荘
②四街道市総合福祉センター及び四街道市南部総合福祉センターわろうべの里
③四街道市福祉作業所
- 8 答申
- 9 その他
- 10 閉会

【議題 令和6年度に実施された指定管理者による施設管理状況の評価】

①四街道市国民保養センター鹿島荘

社会福祉課:(資料説明)

森 委 員:施設の老朽化が進む中、きれいに管理されている。旭公民館が再開され利用者が減ったとあるが、南部総合福祉センターわろうべの里の資料では再開後も利用者がそのままである。一概に評価せず、他施設を参考に聞くのはいかがか。指定管理者も大変な中ストレッチ教室を開くなど涙ぐましい努力もあり、市民も喜んでいると感じる。ごみ処理場の移転に伴い施設が今後どうなるかわからないが、一度市民に意見を聞くなど、第三者委員

を設置してアンケートを実施してもいいのでは。

高 司 委 員：同じく老朽化が気になる。今後震度5以上の地震があった場合、当該施設は耐えられるのか。

社会福祉課：旧耐震基準で建てられた施設ではあるが、耐震診断を行った結果は基準を満たしている。

高 司 委 員：利用者は高齢者が多いうえに、古い建物なのでバリアフリー化もされておらず迅速に避難できるのか心配であったが安心した。

石 村 会 長：施設をみると老朽化も進みこのままで大丈夫なのか不安に思う。計画が頓挫しているようだが、今後はどうなるのか。

社会福祉課：市の計画上、施設の機能は廃止と位置付けているが、クリーンセンターの関連施設のため、指定管理期間中は使用できる。

石 村 会 長：温水プールと一緒に立て直す計画はあるか。

社会福祉課：立て直す計画はない。

石 村 会 長：昨年も言ったが、万が一、市の建物に事故や耐震上問題があり、崩落があった場合は当然市の責任となる。市民に楽しんでもらう施設が、死傷者を出した場合本末転倒である。他の自治体では実際に損害賠償責任がおきた事例もある。他の委員も懸念している事項なので、半年に1回は安全性についてしっかり考えてもらいたい。

森 委 員：5年度と6年度の支出で委託料の差額が大きいがなぜか。

社会福祉課：5年度は受付業務をシルバー人材センターに委託したが、6年度は非常勤職員が行い人件費として計上したため、差額が生じた。

森 委 員：施設使用料の内訳はなにか。

社会福祉課：市外在住者によるものである。

森 委 員：収入のどこに計上するのか。

社会福祉課：市の歳入になるため資料には計上されない。

②四街道市総合福祉センター及び四街道市南部総合福祉センターわろうべの里

社会福祉課：(資料説明)

森 委 員：利用者が増えしっかり管理されていると感じるが、風呂が利用停止になり今後どうなるか不明である。計画や目途等お示し願いたい。

社会福祉課：福祉センターの中規模改修を令和9年度以降に予定しているが、市庁舎の建て替えに伴い遅れる可能性が非常に高い状況である。中規模改修については、具体的な計画はまだ完成していない。

石 村 会 長：風呂は改修されるのか。

社会福祉課：風呂だけ修繕するのではなく、中規模改修の中で全体の部屋数などを考慮する予定である。

石 村 会 長：未定ということか。

社会福祉課：現時点で計画は決まっていない。

森 委 員：他市町村の福祉センターを参考に考えてみてはどうか。

石 村 会 長：鹿島荘もそうだが、入浴施設は故障もあり、施設運営が難しいと感じる。
いっそのことなくす選択肢も考えてほしい。

社会福祉課：中規模改修については市民の意見も反映した計画を目指したい。

石 村 会 長：検討が多く、前に進まない状況が続いているため、今後に向けてしっかり
考えてもらいたい。

森 委 員：わろうべの里については利用者の増加があり、立地の兼ね合いもあるかもし
れないが、接遇などの自己努力の賜物であると感じる。

高 司 委 員：わろうべの里の利用者として、以前から意見していた施設を利用する際の
予約や決済の方法について、今年の7月から変更され大変感謝している。
しかしながら、まだ柔軟に対応されてないこともあり、今後も改善が必要
であると感じる。また、他市町村のようにオンラインで予約ができるよう
になってほしい。県内でオンライン予約ができない市町村を調べたが数件
しかなかったため、当市も今後はオンライン予約について考えてほしい。

社会福祉課：オンライン予約については、システム導入に向け検討した際に費用が大き
く、今後も検討が必要な状況である。

石 村 会 長：評価方法について、指定管理者と施設所管課で認識の相違がある項目があ
る。総合評価で同一の評価をしている施設もあるが、福祉センターについ
ては総合評価が違い、評価について齟齬がないようにしないと不当評価に
なりかねないのではないか。評価基準を指定管理者に説明しているか。

社会福祉課：評価基準については指定管理者に説明している。引き続き指定管理者とコ
ミュニケーションをとり、よりよい福祉の向上を目指し、関係を築いてい
きたい。

石 村 会 長：今後も評価基準について齟齬がないように努めてほしい。

③四街道市福祉作業所

障がい者支援課：（資料説明）

森 委 員：指定管理者に変更があり、どのように進めるのか注視していたが、作業は
どうか。また、定員は減少傾向にあり、今後の見通しはいかがか。定員を
増やすなどの考えはあるか。

障がい者支援課：指定管理者が変わったことにより作業自体を変えてしまうと、利用者が急
激な変化に対応することが難しいため、作業自体は指定管理者の変更にか
かわらず継承している。今後の指定管理期間において、新たな試みも計画
していると聞いている。また、今後の施設利用者について、現在利用者は
様々な選択肢があり、増えていくことは難しいと考えているため、定員は
現状維持し、次の指定管理期間募集時に施設利用について検討が必要だと

考えている。

石村会長：総合評価で施設所管課がA評価としているが、人員配置を増やし引継ぎも含め高い評価をしたということか。

障がい者支援課：一つ一つの項目の中で仕様書以上の成果があったことに加え、これまでとは違う新しい試みをしていたり、施設を利用しやすいように整えたり等の積み重ねで評価した。

石村会長：保護者からの意見や感想はどうか。

障がい者支援課：保護者アンケートでも良い評価をもらっており、相談に応じるなどの寄り添った支援も行っているため、A評価とした。

全施設の令和6年度に実施された指定管理者による施設管理状況の評価に係る答申(案)

①四街道市国民保養センター鹿島荘

原案のとおり決定。

②四街道市総合福祉センター及び四街道市南部総合福祉センターわろうべの里

原案のとおり決定。

③四街道市福祉作業所

原案のとおり決定。

答申後、閉会